

(別紙1)

年 月 日

日本医師会  
会長 松本 吉郎 殿

主催団体名  
{ 都道府県医師会 }

代 表 者 :

「令和6年度 地域における女性医師等支援のための会」の開催について(開催申請書)

今般、標記につきまして、日本医師会との共催により開催いたしたく、下記のとおり申請いたします。

記

1. 会の名称

2. 日時 令和 年 月 日 ( 曜日) 時 分 ~ 時 分

3. 開催形式 (1)対面形式 (2)Web形式 (3)ハイブリッド形式

4. 場所(Web配信元)

5. 参加者予定人数 人

6. プログラム(テーマ)

--

日本医師会女性医師バンク  
ノベルティグッズ依頼書

<p>1. 配布の可否 (必須)</p>	<p><b>可【 個】 ・ 不可</b></p> <p>*可または不可に ○印、また可の場合は希望個数をご記入ください。 *”可”の場合は、個数と以下2. 3. の項目もご記入ください *”不可”の場合、2. のご連絡先・氏名のみご記入ください。</p>
--------------------------	---

<p>2. ご担当者</p>	<p>ご所属 (必須)</p>	
	<p>氏 名 (必須)</p>	
	<p>住 所 (必須)</p>	<p>〒: 住所:  TEL:</p>
	<p>E-mailアドレス (必須)</p>	<p>@</p>

<p>3. 送付先</p>	<p>住 所 (必須)</p> <p>* 2.と同様の場合は不要</p>	<p>〒: 住所:  宛名: TEL:</p>
	<p>配送希望日時 (希望がある場合)</p>	<p style="text-align: center;">年 月 日 ( 曜日)</p> <p>午前中 ・ 14時～16時 ・ 16時～18時 ・ 18時～20時 ・ 19時～21時</p>

<p>4. その他、伝達事項があれば ご記入ください。</p>	
-------------------------------------	--

**地域における女性医師等支援のための会 開催報告書**

1. 共催者1(報告者) \_\_\_\_\_

共催者2(日本医師会以外) \_\_\_\_\_

2. 会の名称 : \_\_\_\_\_

3. 開催日時: 令和 年 月 日( 曜日) 時 分 ~ 時 分

4. 開催場所(Web配信元) \_\_\_\_\_

5. 参加者数 : \_\_\_\_\_ 名(うちWEB参加者 \_\_\_\_\_ 名)(女性 \_\_\_\_\_ 名、男性 \_\_\_\_\_ 名)  
内 訳 { 医師 \_\_\_\_\_ 名(うち研修医 \_\_\_\_\_ 名)  
(分かる範囲) { 医学生 \_\_\_\_\_ 名 その他 \_\_\_\_\_ 名 ※名簿を添付してください

6. 託児室併設の有無  
 有 → 利用実績(子どもの人数) \_\_\_\_\_ 人  無

7. 申込者による参加者アンケート実施の有無  
 有 →Googleフォームより入力  
 有 →アンケート用紙に記入(結果をご提供ください)  
 無

8. その他の添付資料  
 当日の配布資料  記録集、会報等に掲載された記事 等 } ※それぞれ1部ずつご提供ください。  
 その他( \_\_\_\_\_ )

9. 次第またはプログラム  
 添付のとおり

議事内容、要旨

添付のとおり

以下のとおり（以下の欄に記載してください）

・講演のテーマ、主な話題 等

・参加者からの意見、要望 等

・今後の課題、予定(本会合について)

・その他



## 費用申請に関する注意事項

見本

## 開催費用申請書

〇年〇月〇日

日本医師会女性医師支援センター 御中

〇〇医師会

「地域における女性医師等支援のための会」開催に伴う費用を、  
下記の通りご請求申し上げます。

謝金・旅費・アルバイト賃金・飲食代をご請求の場合、対象者の人数をご明記下さい。

項目	金額	領収証等 同封簿送付欄
講師謝金(2名分)	10,000円	
講師旅費(2名分)	5,000円	
飲食代(15名分)	15,000円	
託児費用	20,000円	
合計	50,000円	
請求額	45,000円	

〇振込先  
銀行名 〇〇銀行 〇〇支店  
口座番号 (普通) 123456789  
フリガナ コウエキ シヤクイン ホウジン  
口座名 公益社団法人 〇〇医師会

参加者15名の場合:1名につき上限  
3,000円(税込)×参加者15名分です。  
(※例えば、講師謝金のみで上限を超え  
た場合などは、それ以外を記載する必  
要はありません)

口座名義人名はフリガナを  
明記してください。

## ●請求できる費用

- ・講師謝金、旅費
- ・アルバイト賃金(開催当日のものに限る)
- ・会場、機器類レンタル料、等  
(開催当日のものに限る)
- ・資料印刷代  
(当日配布資料・案内状・チラシ等)
- ・案内状等送料
- ・消耗品代(看板、文具等)
- ・飲食代  
但し、高額なものを除く。  
お茶、お弁当程度。  
おおよその単価目安、1,500円未満。
- ・託児費用

## ●請求できない費用

- ・貴会役職員(日医役職員含む)謝金、賃金、交通費
- ・貴会機関紙等印刷・発送費用
- ・本事業に関連のない冊子等の購入費用
- ・金券類(講師謝礼を除く)、土産、クーポン、記念品等の代金
- ・高額な飲食代
- ・備品購入代
- ・参加者旅費、交通費
- ・自社ビルや事前打ち合わせ等の会場費
- ・実施責任者と同一会計の団体の収益になる費用
- ・振込手数料 \*補助対象外経費のため不可等

## 留意事項

- ・ご請求の際には、「請求できる費用」と「請求できない費用」の再確認をお願いいたします。
  - ・費用申請の上限金額は、参加者1名当たり3,000円、かつ最大25名分(75,000円)までとします。
  - ・Web・ハイブリッド開催時の費用申請について  
Web参加者も費用申請にできます。(ハイブリッド形式例:対面参加20名、Web参加5名の場合、25名分の費用の請求可)  
Web参加者の会合中の飲食費は請求できます。  
※ただし、「配布するための送料」と「お土産としての茶菓子代」の請求はできません。
  - ・費用申請には「当日の次第(プログラム)」、「領収書(写)」、「明細書(写)」等の添付が必要です。  
※請求内容との整合性がとれるものの写しが必要となります。<別添2を参照>
  - ・費用申請期限(令和7年2月28日)を過ぎた場合は、費用をお支払いできない場合もございます。
- その他、不明な点がございましたら担当までお問い合わせ下さい。

## 費用申請に添付する領収書等について

助成金の費用申請を行う際には、次の①～③の資料をすべて添付してください。

① 当日の次第（プログラム）

② 請求書 請求明細（内容・単価・数量などの明細が記載された証拠書類）

\* 領収書またはレシート対応（現金払い）で明細が記載されている場合は不要

③ ②の支払いを証明できるもの／領収書（下表のとおり）

支払い方法別	必要書類
「振込で支払い」を行った場合	銀行発行の「 <b>ネットバンキング振込済帳票</b> 」や「 <b>振込受付書</b> 」 ※振込完了を証明できるもの（「 <b>通帳のコピー</b> 」も可）
「現金で支払い」を行った場合	領収書 または レシートの写し（宛名が記入されたも） ※領収書やレシートに内容・単価・数量等の記載がない場合は、請求書や納品書など明細が分かる書類を添付してください。

<明細が分かる書類についての注意事項>

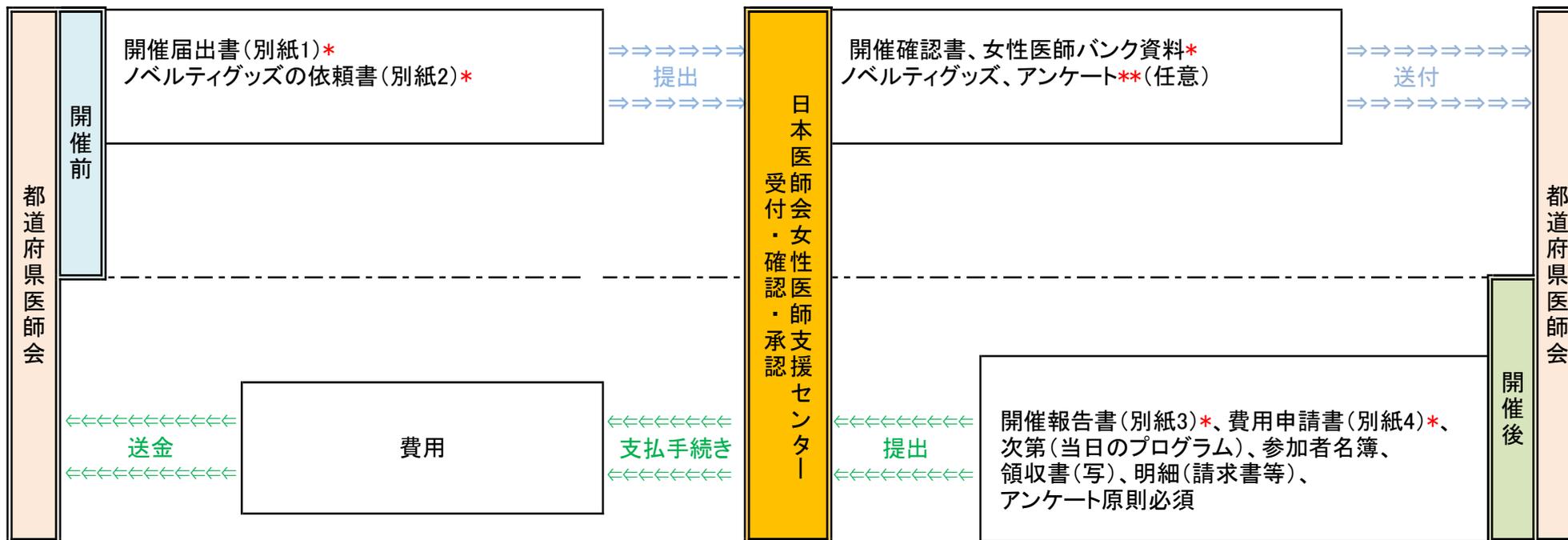
請求書等の明細が「一式 ○○円」の場合、用途や内容が分からず、査定ができません。

（良くない例・明細として請求書を添付する場合）

		年 月 日	
請 求 書			
○○県医師会 様			△△株式会社
請求金額	*****		
品名	数量	単価	金額
会合設営等業務	一式		*****
合計			*****

# 地域における女性医師等支援のための会 事務手続きフロー

実施期間： 令和6年6月～令和7年2月18日(火)



開催報告・費用申請期限： 開催後1ヶ月以内\*\*\*

- \* 女性医師支援センターホームページ(<https://www.med.or.jp/joseiishi/article025.html>)よりダウンロード可能
- \*\* Googleフォーム(<https://forms.gle/zhaeV6QvqnZAwjnj5>)も利用可能
- \*\*\* 令和7年1月下旬以降の開催については令和7年2月28日(金)必着

# 参加者アンケート

開催日 年 月 日

【主催者記入欄】 下記該当の事業に☑してください。

- 医学生・研修医をサポートするための会  
 女性医師等の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会  
 地域における女性医師等支援のための会

【主催者記入欄】

会の名称

## I ご自身について

1. 年齢 (1)20代 (2)30代 (3)40代 (4)50代 (5)60代 (6)70代 (7)その他( )

2. 職業	(1)勤務医 ①常勤 ②非常勤 ③休職・離職中 ④その他( )
	(2)開業医
	(3)勤務医・開業医以外 ①病院管理者 ②教授 ③准教授 ④講師 ⑤研修医( 年目) ⑥医学生( 年生) ⑦看護師 ⑧事務職 ⑨その他( )

## II 今回の会について

1. 今回参加された理由をお聞かせください(主なもの一つ)

- (1)テーマ (2)クチコミ(医師会・先輩医師・知人・友人・その他 )  
(3)参加者との交流 (4)勉強 (5)情報収集 (6)以前から興味 (7)その他( )

2. 参加されての感想をお聞かせください

- (1)とても良かった (2)良かった (3)普通 (4)あまり良くなかった (5)良くなかった  
理由: )

3. 参加されて女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識は変化しましたか

- (1)意識が上がった (2)少し上がった (3)変わらない  
理由: )

4. 今後もこのような活動は必要だと思いますか

- (1)必要である (2)どちらともいえない (3)必要はない  
理由: )

## III 日本医師会女性医師バンクについて

1. 日本医師会女性医師バンクを知っていますか

- (1)以前より知っていた (2)今回の会で知った (3)知らない  
↓ (主なもの一つ)

- ①チラシ・ポスター ②ホームページ ③SNS ④医師会報 ⑤クチコミ( ) ⑥その他( )  
どのような関係の方から等

## IV その他

1. ご要望・ご意見等ございましたらご記入ください

( )

以上です。ご協力ありがとうございました。

※日本医師会は、厚生労働省から指定を受けて「日本医師会女性医師支援センター事業」を行っております。

事業内容としては、

- ①再就業講習会事業 : 年齢・性別等を問わず、ライフイベントとキャリアの両立が課題であるという考えを基に、女性医師等の就業を支援することについて効果のある講習会等の実施や支援。  
②女性医師バンク事業 : 女性医師等のライフステージに応じた就労を支援し、医師の確保を図ることを目的として、復職支援を含む就業斡旋。/ 事業所名 : 「日本医師会女性医師バンク」  
があります。

日本医師会女性医師支援センター

# 日本医師会女性医師支援センター

- ・女性医師バンク事業
- ・医師の多様な働き方を支えるハンドブック

## のご紹介



公益社団法人 日本医師会

女性医師支援センター

Japan Medical Association Woman Doctor Support Center

～女性医師等の就業・復職（再研修）支援事業～

## 日本医師会女性医師バンク

1. 医師の多様な働き方をサポートします！

2. 都道府県医師会との連携による地域の実情にそった紹介体制！

厚生労働省の指定を受け、結婚・出産・育児や介護など、医師のライフステージに応じた就労を支援し、医師の確保を図ることを目的として、日本医師会が実施している職業紹介事業です。

また、研修が必要な方には、研修先の紹介も行っています。

### 臨床医

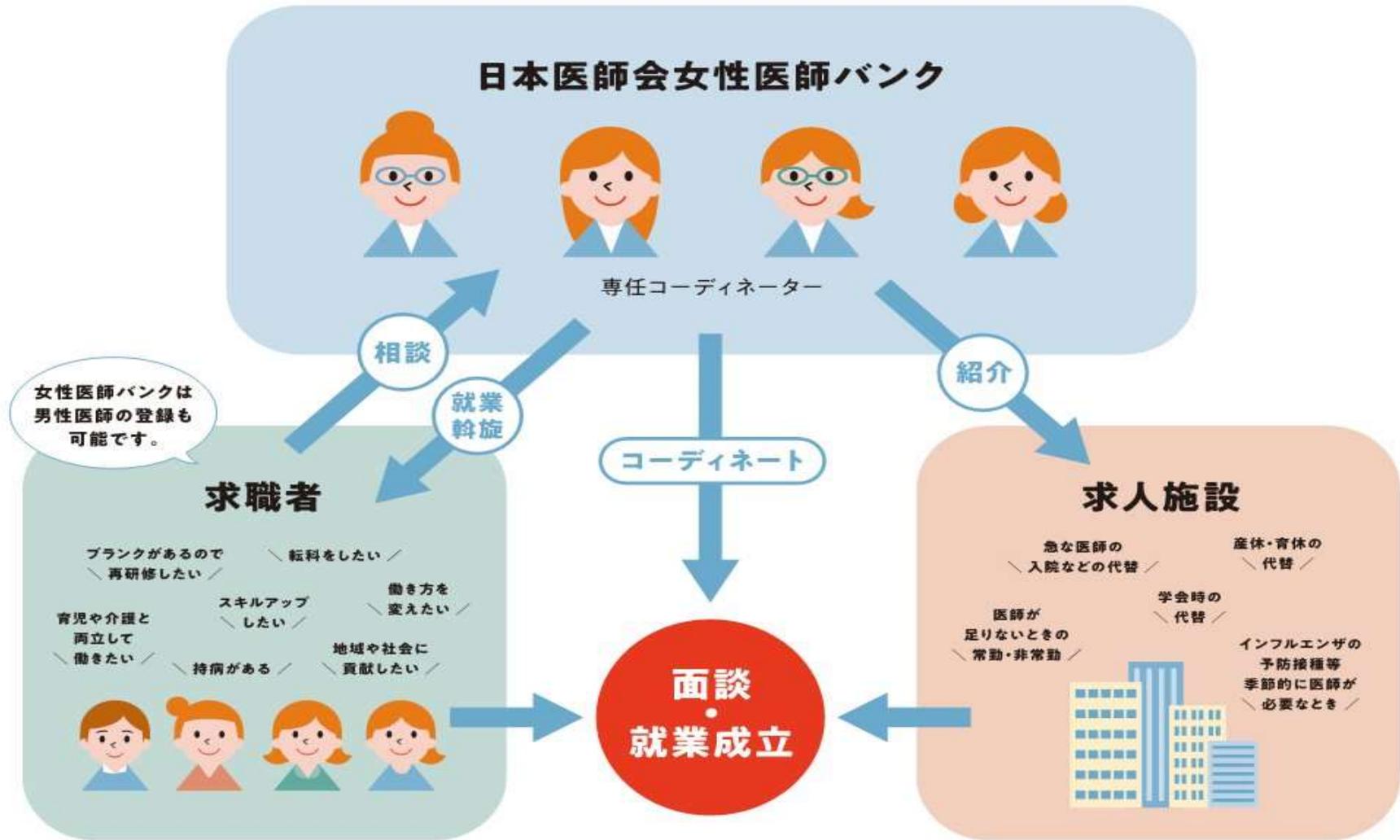
常勤・非常勤  
スポット（健診等）

### 行政医

公衆衛生医師  
検疫官等

### 産業医

専属産業医  
嘱託産業医



求職・求人ともに、紹介にかかる費用は、すべて **無料**


 まずはお気軽にご相談ください！  
**03-3942-6512**  
 (平日10:00~17:00)


 詳しくはWebサイトをご覧ください。  
 日本医師会女性医師バンク で検索  
 または、QRコードを読み込み、アクセスしてください。



# 医師の多様な働き方を支えるハンドブック

女性医師支援センターでは、『医師の多様な働き方を支えるハンドブック』を制作・配布しております。

このハンドブックは、医師が社会人として働く上での基礎知識や出産・育児に関して直面する課題、それを支える制度など必要な情報を掲載しており、医学生、研修医など若手医師をはじめ多くの医師にご活用頂ける内容となっています。

ぜひ、ご覧ください。

女性医師支援センターHPからダウンロードできます。

<https://www.med.or.jp/joseiishi/article037.html>



## 第1章

### 社会人として働くうえでの基本的な知識

研修医・勤務医として働くということは、すなわち「社会人」として生きていくということです。社会人・労働者には様々な制度がありますが、制度の概要や活用方法について詳しく学ぶ機会は、これまでほとんどなかったのではないかと思います。そこでこの章では、社会人として働くうえでの基本的な知識をご紹介します。

